

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム四ッ葉

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 窪田 美杉

評価完了日 平成 20 年 7 月 3 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者様のその人らしい生活を支援するための理念として掲げている。 日々その理念を振り返るよう勤めている。地域密着と理念に結びつきについて、職員が少しずつ理解できるようになってきている。 (外部評価) 四ツ葉の花言葉を理念に掲げ、利用者、ご家族、職員の「幸福・愛情・健康・希望」を目指し、地域とのかわりも大切に取組まれている。		入居者様のその人らしい暮らしの継続が家庭的な環境と地域交流にどう結びついているか、われわれに何が出来るかを話し合っていく。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員採用時には必ず理念について、又、認知症の理解を促している。 管理者と職員は共に理念を共有し実践に取り組んでいる。職員は理念に基づいた目標を一人ひとりが持ち、実践に取り組んでいる。職員は理念カードの携帯をしている。 (外部評価) 共用空間に理念を掲げておられ、毎朝行われる朝礼の際には、代表者が理念に沿ったお話をされている。又、管理者は、理念の実践に向けて、ケアにつなげて考えられるよう職員に話しをされている。職員個々に目標を立てておられ、「一日一回、皆で大笑いをする」という目標を立てている職員もあった。		朝礼やミーティングでは常に理念の振り返りの内容で話し合いをしている。 日々の支援の中で起こったことは理念を振り返り解決に向けて話し合っている。職員がそのつど理念に基づいているか判断できるように努力していく。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族には入居時に理念についてお話をさせて頂いている。また、日々の生活の中でも伝えている。 地域の方については説明する機会が少ないが、日々の生活での交流で理解いただけるように努力している。 運営推進会議の参加の方にはお話ししている。		来客の方の目に付く所に理念を掲げている。 今後、交流をどうして理解して頂けるように努力する。運営推進会議や、行事での交流で少しずつ理解して頂けるようになったのではないかなと思う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 天気の良い日には毎日散歩に出かけ、近所の方と挨拶を交わしたり、お話をすることが日常的になってきた。 管理者も職員も同じ立場で関わりあっている。 バーベキューに来て頂いたり、お餅つきにはおすそ分けをしたり、野菜の収穫時期にもおすそ分けをしている。		散歩の途中でお花を頂いたり、「花や植木を畑に植えて」と頂くこともある。 近所の方が畑の野菜を見て立ち寄られたり、話をしたりすることもある。 近所の飲食店に出向いて外食をする事もある。 散歩の途中で買い物をする事もよくある。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事には、案内を頂き出向いて行ったり、来て頂くこともある。継続的に老人会に参加されている方がおられ、行事には他の方、職員も一緒に参加することもある。 (外部評価) 事業所では、バーベキュー大会を開催され、地域の方達やご家族等、大勢の人が集まり楽しまれた。又、地域のサロンに参加されている方もいる。		地域の盆踊りに参加したり、お祭りには、みこしや太鼓台に来て頂いた。 民生委員さんより情報を事前に頂き、公民館活動への参加をすすめている。ホームでのバーベキュー大会には地域の方を招いたり、水軍太鼓にも協力して頂いた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 高齢者の方が訪問され、ホームの説明やその他の支援事業について説明をし紹介させて頂いている。運営推進会議で認知症について議題にあげて話したりしている。今後は相談窓口として啓発に努めたい。		職員が地域の方の相談に応じたりしている。依頼があればキャラバンメイトの養成講座を行っている。ホームでできる事の啓発をし、相談の窓口となれるよう勤めていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 昨年の外部評価内容を再度確認のため運営者、管理者、職員が毎月のミーティングで項目分けをして話し合いの時間をとり改善に向けて意見を出し合った。 (外部評価) 職員個々で自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、職員それぞれの介護等への理解度を知り、今後の研修の内容の参考とされた。この一年間、避難訓練や運営推進会議の実施に、特に力を入れて取り組まれた。		昨年の改善点は一つ一つ見直し、すぐできることはすぐ実行し、意識づけるのはそのつど声かけするように努めた。運営推進会議の定期の実行で地域への理解が深まっている。避難訓練で職員の意識も高まってきた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、利用者様の日々の様子やホームでの取り組み今後の目標等の報告や毎回テーマを決めて発表や話し合いをし、意見を頂くようにしている。		ご家族や地域の方から意見やいろいろな情報を頂き運営に活かして行きたい。また、その内容を職員全員で把握し、進めていく。
			(外部評価)		
			会議では、事業所の入居状況や活動の報告をされ、出席者に意見を出していただけるよう働きかけておられる。研修を受講し、得た知識や情報等も報告されている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者により、市長村担当者の方へ相談して意見や指導を受けている。事業者、ケアマネ連絡会やグループホーム連絡会等で、市の担当者の方とのかかわりも増えた。		ミーティング等で職員に情報の伝達をして行く。
			(外部評価)		
			運営推進会議は、市の担当者から、介護保険制度や医療制度について説明いただいた。又、市社協主催のイベント情報等も得て、ジャズコンサートやキックボクシングを楽しみに出かけておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			運営者、管理者、職員共にミーティング時に勉強会をし、理解を深めた。 入居契約時には必ず説明をしている。		実際に活用することがないため、定期的に勉強会に組み込んでいきたい。新人職員への勉強会を行う。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			運営者、管理者、職員共にミーティング時に勉強会をし、理解を深め、虐待防止に努めている。		他の施設であった虐待事例について朝礼やミーティングで話し合っている。新人職員への勉強会を行う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には時間がかかっても、すみずみまで丁寧に説明し、起こりうるリスク等の説明をし、同意を頂いている。契約時には職員2名で対応し、もれのないように努めている。		入居されてからも分からない事などを聞きやすいよう声かけしている。職員が誰でも答えられるように契約内容や運営方法等の理解をする。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ホームでの活動や、行事の予定は入居者様の集まる食事の後や、お茶の時間に皆様の意見を聞きながら計画を立てるようにしている。個々の意見や不満等、居室に伺い聞いて改善に努めている。日々のケアの中で入居者様が自分らしく意見・思いが言えるように支援するよう努めている。		ご家族等面会後には、本人が職員に言いにくい思いがないか聞くようにしている。意見、不満等があるときは話し合い改善に努め周知している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月担当者による、生活の様子のメッセージと写真、金銭出納表を3ヶ月に1度はホーム便りを作り運営推進会議に参加されない方にも送付し、報告や予定を伝えるようにしている。心身の状態や生活の様子を面会時に説明し、必要時には電話連絡している。		毎月の外出の時には日程、行き先をお伝えし、面会の少ない方には生活の様子も伝えている。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時には苦情等、その場で伝えていただくようお願いしている。各ユニット入り口に意見箱を設置している。普段からのコミュニケーションを大切に信頼関係を築き何でも言って頂けるよう努めている。面会後には意見を聞くようにしている。		苦情があった時には、早急に対応し、職員との話し合いをし、改善に向けている。又、同じことのないよう周知に努めている。意見箱を利用する方はほとんどなく直接言って頂いている。
			(外部評価) ご家族来訪時、ご意見をいただけるよう働きかけておられる。又、行事ごと等でご家族が集まる際には、話し合うような時間をとっておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝礼やのミーティングで意見や提案を出し合い決定するようにしている。又、日々の活動の中で気付いた事は言うようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その時の状況に応じ、対応できるよう勤務調整や応援の職員を配置できるようにしている。急な残業や休日出勤にも職員は出来る限り対応している。管理者職員共に同じ立場で支援できるような勤務体制をとっている。夜勤だけの職員は配置しない方針。		入居者様個々の入浴や外出の希望をすべて受け入れることは難しいが、可能な範囲で努力し、ご家族の協力を得ている。 職員が定時で仕事を終える事が出来るようにしていく。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員が定着し、入居者様との馴染みの信頼関係が持てるよう働きやすい職場であるよう努力している。日ごろからユニット間の交流が増え、職員の助け合いができています。 新人職員の指導期間が取れるようになってきた。 (外部評価) 事業所では、利用者の信頼関係作りを大切にされており、職員の異動は少なく、馴染みの関係が作られている。		ユニットミーティングの際には他ユニットが応援に入って対応できるようになった。入居者様のダメージは最小限にできるよう配慮している。
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員に研修の案内を回覧し、出席を勧めている。参加費用、交通費等を支給するようにしている。自主的に希望を出す職員も増えてきた。 研修参加後にはミーティングにて報告、資料回覧している (外部評価) 事業所内でのミーティング時には、その都度議題を掲げて勉強会を行ってられる。外部研修等にも積極的に参加し、得た情報は他の職員にも周知され、運営推進会議等でも発表されている。		研修で得たことを、現場で活かせるようになってきた。 毎月のミーティングで現場の事例をあげて勉強会を行っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域での連絡会に出席して交流を深めている。ホームでの行事(バーベキュー等)に来て頂き意見を頂いた。近隣のデイサービスとは行事ごとに交流している。研修会等でネットワークを広げ情報を得ている。		一部の職員に限らず、すべての職員に研修会等の参加を呼びかけ、ネットワークを広げ、質の向上に活かせるように努めたい。他施設研修を希望する声もあるため機会がもてるようすすめていく。研修に参加した時にはすすんで他施設の情報等伺い交流していく。
			(外部評価) 法人代表者は、地域のグループホーム連絡会の会長をされており、職員もともに他の事業所と交流や意見交換をされている。事業所に市の担当者を講師に招き、他事業所も来訪され、センター方式活用について勉強をされた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 忘年会、お花見などの親睦会を開いている又、他ユニットの夜勤協力でユニットの職員全員が懇親会をすることもできた。誕生日には誕生会を入居者様と同様に言いプレゼントも頂いている。職員同士又上司とも意見が言いやすい環境であるよう努めている。		
			(自己評価) 運営者は毎日現場に来て朝の朝礼を行い入居者様の把握に努めている。又入居者様への声かけも行っている。職員の資格取得に向けた支援を行っている。		運営者と管理者は毎日のホーム内の様子の変化等報告し連携をとっている。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から利用に至るまでに、ご本人、ご家族のお話を聞き入居されてすぐに対応できるようにしている。ご本人の心身の状況など受け止める努力をしている。入居されて慣れるまでは、ご家族へ頻繁に来て頂くようお願いしている。		ご本人が都合により来所できない場合には運営者、管理者が出向いてご本人に話を聞いている。現場の職員との面談が出来るようにしていき、いっそう細かい情報の収集に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前の相談時にはゆっくりご家族の思いを聞きご本人の状況や、ご家族の希望を伝えて頂けるように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時にはご本人や、ご家族の実情や要望を聞き可能な限り柔軟な対応を行っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前にご本人に来て頂き、コミュニケーションを取れるようにしている入居前に徐々に馴染んでいくことは難しい。 事前に情報を得て、今までの生活や性格を知り、入居されてすぐに馴染みやすいような対応ができるように努めている。		入居前に行事に参加して頂いたり、見学时に他の方とお茶を飲んで頂いたりしている。(認知症の方は訪問した事をほとんど覚えておられないが職員がその方と初対面ではないという対応で安心して頂けるようにしている) 徐々に馴染んで頂く方法を考える。
			(外部評価) 入居前には事業所を見学に来ていただいたり、ご本人を訪問しゆっくりお話をされている。入居間もない頃は、居室等で自由に過ごしていただき、職員は、共用空間で行う楽しみごと等にお誘いし、他の利用者とも仲良くできるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 理念に基づき入居者様の気持ちを理解し、共に過ごし学び支え合える関係作りに努めている。 人生の先輩として、日々教えて頂く事が多く、職員はそういう場作りに配慮している。入居者様から気づかいをして頂く場面もよくある。		
			(外部評価) 職員は、利用者から料理等、家事の知恵を教えていただくことが多い。又、利用者から「感謝の心の大切さ」を学ぶこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 職員は、ご家族と一緒にご本人を支えるために、協力して頂き、喜怒哀楽を共にし情報の共有に努めている。 疎遠になっているご家族には心身の状況をお話し来所を促している。遠方でこれない方には常に電話連絡をしている。またご本人が携帯を持ち直接やり取りされている方もいる。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人とご家族のよりよい関係作りが出来る環境作りに勤めている。 焼肉会やクリスマス会にはご家族にも参加して頂き一緒に楽しんで頂いた。誕生会にいっしょに参加して頂いた方もいる。疎遠になっているご家族には電話にて状況報告をし来所を呼びかけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔からの友人やご近所の方親戚の方等の面会がときにはある。ご姉妹が散歩がてら、お花やお菓子を持って来られたり、自宅に帰って息子様方が集まり食事を一緒にされる方がいる。 散歩の途中で出会った知り合いの方にはホームに遊びに来て頂くように声かけしている。		中にはお付き合いがあまりなかった方もおられるため他の方法で地域との交流を深めている。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者様同士のトラブルは日々起こっているが、孤立しないように職員が配慮し、情報の共有が出来るようにしている。 お茶、食事の時間には、職員も一緒に雰囲気作りに努めている。また皆さんで協力して出来ることを強制にならないように考え努めている。		孤立してしまい、不安な方へ日々いろんな対応を工夫している。日々のトラブルは起こっても、職員がその雰囲気を知り入居者様の心のダメージを最小限にとどめられるように配慮している。必要な時には席を代わって頂く事もあるが不快にならないよう対応している。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後、ご家族から相談を受けることがある。 転居先、入院先に面会に行くこともあり職員に様子を伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のかかわりの中で、ご本人の思いや希望がいいやすいような環境を作るように努めている。出来ること出来ないことを検討をして、ご家族に協力を得る事もある。		職員全員が意識していく。
			(外部評価) 利用者の日々の言葉を記録する等、センター方式の書式を用いて、ご本人の思いや意向の把握に努めておられる。又、職員は、利用者個々に関心を持ち、精神状態等の把握にも努め、ご本人を理解しようと努力されていた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に、ご本人ご家族から細かく情報を得るようにつとめている。入居前に生活面のアセスメント用紙をご家族に渡し、自宅でゆっくり充実した内容を記入して頂くようにしている。入居後に分かったことについては職員に周知している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムを把握し、出来ること出来ないことを知り、何で笑顔を引き出せるか等考え対応している。また、認知症の勉強会ではその方の不自由は何かを学びあっている。		入居者様の有する力がまだまだ引き出せると思う。危険のないようにチャレンジして頂く。職員が目配り気配り心配りをし自ら意見が出せるように努めていく。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人ご家族に希望を聞き、ケアプランに取り入れている。日々の生活の中で重要なことは職員同士が意見を出し合うようにしケアプランに活かしている。必要なことはミーティングで話し合いをしている。		新人職員のケアプランについての指導をしていく。職員が同じ角度で入居者様を理解し、計画に反映していく。
			(外部評価) ご本人の思いをもとにしてご家族に相談し、職員で話し合って介護計画を作成されている。ご家族にも協力していただきながら支援できるような計画の内容となっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人ご家族の状況に応じて見直しを行っている。ご本人の心身の変化や状況の変化が起こった時、継続的な対応が必要か否か話し合いをし計画を変更したり追加したりしている。		職員全員が考えて意見を出せるように質の向上を図る。
			(外部評価)		
			退院時等、状態変化時には、医師や看護師のアドバイス等も採り入れ、計画の内容を見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子がよく分かり計画の評価が日々行えるような記録が出来るように努めている。計画の評価がしやすいように記録用紙を開くと、計画内容が分かるようにしている。又、職員が情報の共有が出来るように取り組んでいる		入居者様の日々の様子が誰が見ても分かるように記録していく。計画の評価が記録できるように職員一人ひとりが意識する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			医療連携を活かし、かかりつけ医の受診往診を受けたり、入院が必要になった場合は医師により医療機関の紹介を受けることができ、退院後の生活の継続の指導も受けることが出来る。生活の中では欲しい物を買に行く程度で希望にそった対応はできていない。		その時々柔軟な対応できるように努力し、できないことはご家族に協力して頂く。
			(外部評価)		
			事業所全体での外出や個別に買い物に行く等、利用者の希望等にも沿って積極的に支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員さんとの関係が深まり、地域の活動に声をかけて頂けるようになった。 ボランティア受け入れ登録をしている。 消防署の協力により、入居者様、ご家族、ご近所の方、職員全員で避難訓練ができた。また、耐震車による地震体験もできた。		地域との相互の関係をますます深めて行きたい。三津地区PTAの「子育て店舗」となっているが、職員の認識がなく、あまりかかわれていなかった。意識してかかわって行きたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ご本人、ご家族の希望で、自立支援事業のマッサージを受けている方がいる。		ボランティアによる、フラワーセラピーやアロマセラピーを受けられている。 訪問理容にも来て頂いている。本人、ご家族の希望時にはいつでも来て頂ける。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加頂きそこで情報を頂いたり、指導を受けている。連絡会での交流も増え、相談しやすい関係になった。		包括支援センターによる情報ネットワークの利用や情報の提供等もしていきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居契約時にかかりつけ医の受診、往診等、医療連携について説明し納得頂くようにしている。又、希望により他病院を受診されている方もおられるが、必要時には医師同士の情報の提供がなされている。かかりつけ医とは24時間何時でも連絡が取れ、指導も受けることが出来る。他病院への紹介もして頂いている。 (外部評価) 服薬については、医師と相談しながら支援されている。精神面の不安定な方は、精神状態等についても記録様式を作り、事業所での様子が医師に詳しく伝えられるよう工夫されていた。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要な時にはご家族と相談の上、専門医を受診して頂くようにしている。 開設当初より心療内科の医師に指導や助言を受けている。必要時にはご家族同行して頂き受診されている。 2,3ヶ月に一度ホームに訪問して頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 何でも相談できる看護師が法人内に配置され、入居者様の把握をして頂き、指導を受けている。毎月のミーティングで看護師による日常の健康観察の仕方等勉強会をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時にはご家族の同意を得て、サマリーや個別マニュアル等の情報提供を行い少しでも安心して過ごせるように支援している 入院中には病院を頻繁に訪問し、情報を得たり、ご本人やご家族が安心して頂けるように支援している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居契約時に、重度化に向けた話し合いをしている。常時医療行為が必要になった場合には、医師の判断により、ご家族と相談して対応できる施設や医療機関を紹介して頂くこともある。 (外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の状態を詳しく伝えるようにされている。ご本人の状態について医療が必要になった場合には、病院や他施設を紹介することをご家族に説明されている。		ご家族との具体的な話し合いをしていき、職員間で話し合う。 さらに、ご本人やご家族の思いや希望等も聞き取り、ご本人やご家族の不安や心配なことについて、話し合うような機会を作ってはどうか。又、事業所で行える支援についてもご家族に伝える機会が望まれる。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化や終末期の方が現在おられないが、GHで出来る事出来ない事を見極め変化に備えての検討や準備はかかりつけ医との連携により行っている。		GHで出来る事出来ない事の把握をし、今後ありうる重度化、終末期ケアについての勉強会をする。一人ひとりの方希望や対応について、職員が把握していく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えの時には、今までの暮らしが安心して継続できるように生活環境、支援内容、注意点などの情報提供をしている。又、分からない事について、何でも聞いて頂くように伝え、様子を伺っている。医師からも情報提供をして頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 個人情報保護法の理解に努め、秘密保護の徹底がなされている。必要な情報提供にはご家族の同意を得ている。勉強会やミーティングで入居者様の尊厳について話し合いをしている。声かけや対応で気づいた事はその都度話し合うようにしている。</p>		<p>勉強会を重ねて、意識の向上を図る。 職員同士が、意見を出し合える環境を保つ。 自分の立場に置き換え、常に気持ちに配慮し言葉を選んで対応する。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりのレベルに合わせて選択していただいたり、自己決定できる場面を作り混乱しないように努めている。共同生活の場であるため、他の方に合わせて頂かなくてはならない時には、説明し、納得して頂けるように努めている。</p>		<p>飲み物の希望を選択したり、散歩のコースを決めたりされている。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 一日の生活ペースは、ある程度決まっているが、中でも一人ひとりのペースに合わせて柔軟に対応できるように努めている。常に1対1の対応が出来ない事はご本人、ご家族に説明している。</p>		<p>入居者様の希望を引き出せるように対応して行く。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>夜間は9時くらいまでテレビを楽しまねながら、のんびりと過ごされる方もいる。又、食事もゆっくり食べていただけるよう声かけされていた。職員は、利用者の意欲を支援できるよう努めておられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご家族と外出して散髪される方、訪問理容を利用される方がおられパーマをかけたり、毛染めされたり、希望により行っている。着替えはその方に合わせご本人と一緒に選んだり、自由に選ばれたりしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 畑に野菜と一緒に取りに行き料理をすることもある。食事の準備や、片付けなど入居者様それぞれの出来る事を一緒にして頂いている。料理の仕方や味付け等、入居者様に教えて頂く事が多い。一人ひとりの苦手な物は把握し対応している。 (外部評価) 現在は、週3回、業者から食材が届くようになっており、利用者が味見をしたり、盛り付けをされる等、食事作りにかかわっておられる。週4回は事業所でメニューを決め、利用者のお好きなものも採り入れ、食事を作っておられる。事業所敷地内2か所に畑があり、採れたての野菜等も食事に使用されている。		食事作りにも参加して頂けるように工夫したい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お菓子を自分で管理して食べている方や管理の難しい方には必要な時に渡したり、夜間は預かり、日中の適当な量を居室に置いたり等の対応をしている。散歩の時に購入したり、ご家族が持ってこられる方もいる。10時のお茶の時間には、コーヒー、紅茶、ココア等希望によって飲まれる。オロナミンCを飲まれる方もいる。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を使用し、排尿の回数や排便の有無などの確認をしている。声かけが必要な方には、周囲への配慮をして声かけや対応をしている。一人ひとりの排泄パターンを知りトイレで排泄できるように努めている。下剤を服用された時には出来るだけ失敗がないように声をかけて誘導している。		無理強にならないように配慮する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			皆さんが毎日の入浴は難しいが、一日おきには入浴されている。対応できる範囲内で、希望の時間を伺って入って頂いている。希望があれば続けて入られる方もいる。		
			(外部評価)		
			一人で入浴される方や、職員とお話を楽しみながら入浴される方もいる。職員は、お湯が清潔に保てるよう気を付けておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を促し、夜間の安眠ができるように支援している。必要な方には、ご本人、ご家族に相談して医師による薬の調整を受けている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			その方の生き生き出来る事、喜ばれることを見つけて一緒にして頂き職員がその中で学ばせて頂いている。入居者様同士が支え合える場面作り、役割や張り合いを持って頂いている。散歩のコースを決めて頂いたり、食べたいものを聞いて外食に出かけたり、行きたい所を聞き出掛けている。		今後話し合い、いろんな事に取り組んで行きたい。フラワーセラピーに毎月参加されて楽しめる方もいる。
			(外部評価)		
			映画館に戦争をもとにした映画を観に行き、感動し涙されたり、ジャズのお好きな方は、お部屋でCDを聞かれたり、コンサートにも出かけられた。又、お弁当を持って釣り堀に行かれたり、季節を楽しむ行事を行っておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			通帳や大金の管理はされていないが、入居時にご本人、ご家族と相談しつつでも使えるようにしている。		散歩の時等、欲しい物を買えるように支援していく。又、買った物は、その方に合わせた管理を工夫する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は毎日散歩に出かけている。車椅子や歩行不安定な方にも安全に出かけて頂けるように努めている。日々の買い物にはご本人の意思を聞き一緒に出掛けている。月に1, 2回は外出、外食をしている。		
			(外部評価)		
			夏は、朝8時頃の涼しい時間帯に散歩に出かけておられる。又、近くのお店に買い物に行かれたり、地域のサロンに参加希望の方も支援されている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出、外食の希望を聞き皆さんと一緒に出かけている。日々の生活の中で行きたいところを伺い、楽しみを持って頂くように努めている。希望者はジャズコンサートやキックボクシングを観戦に出かけた。		一人ひとりの希望を出して頂けるように努め、ホームでできる事へ取り組みをしていき、できない事についてはご家族の協力が得られるように支援していく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			ご希望に応じて、何時でも電話できるように支援している。ご自分で携帯電話を持ってご家族とコミュニケーションを取っている方はいる。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			一度来て頂いた方には、何時でも来て頂けるように声かけしている。知人、友人の面会が少しずつ増えてきている。外出時には、ご家族や度々来られる方にお知らせして迷惑をかけないように努めている。最近では散歩の途中で出会った知人に立ち寄り頂くようにお話している。		面会時には居室でお茶やコーヒーを飲みながらゆっくり話しが出来る環境を作っている、相談室を使って頂くこともある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや勉強会で話し合って身体拘束をしないケアを行っている。言葉による拘束についても日々のケアの中で話し合っている。		定期的に勉強会を行い、新人職員へも認識を深めていく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや勉強会で話し合っている。夜8時までは玄関に鍵はかけていない。職員が連携をとって、声を掛け合い見守り、さりげない対応に努めている。玄関にはセンサーを取り付けている。1, 2階の職員同士で協力し離脱を防げるように対応している。現在2階の出入り口には、鈴をつけて、対応している。 (外部評価) 調査訪問時、玄関は開放されていた。敷地内で活動できる畑やスペースもある。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を通して、プライバシーに配慮しながら様子の観察や、居場所の把握に努め安全に配慮している。夜間も2時間おきの巡視をし、安全確認をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態の把握に努め危険のないように取り組んでいる。危険を察知できるように、気配り、見守り、声かけするよう、努めている。危険なことが起こった時は同じことがないように、周知し改善している。		もしかしてと思った時に、改善できるように、職員の気付きを高める。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ミーティング、勉強会でリスクマネジメントをしている。一人ひとりの状態に応じた対応を日々話し合いリスクの把握に努めている。危険が生じた時には早急に対応し、ヒアリハットや申し送りにより職員に周知している。又、ユニット間でも活かせるようにしている。		職員間で対応を考え周知している。又他のユニットとも情報交換している。定期的にリスクマネジメントをしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ミーティング、勉強会で定期的に話し合っているが、経験の少ない職員にとっては不安がある。緊急時の対応についてマニュアルを作ったり、実際に対応の仕方をミーティングで行っている。		勉強会での積み重ねをして、自信が持てる様に質の向上に努めていく。消防署の救命救急講習を受講知る。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、通報訓練、消火訓練、避難誘導をして、全体の避難訓練に入居者様も参加された。又、耐震車に来てもらい地震体験をした。職員全員出席、ご家族、近隣の方、にも着て頂いた。 (外部評価) 火災時の避難訓練時には、消防署の方のアドバイスを受け、消火器の使い方等も習われた。又、地震が起こった際の対処方法についても習われた。		運営推進会議では、地域の方との相互の関係が持てるようにすすめている。 避難訓練は回数を重ね身につけることと、イメージトレーニングをする。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時に自由な生活とリスクについて説明し理解して頂くようにしているが、一度に理解を得られないこともあるためその都度説明している。日々の生活の中で危険が発生したとき等、面会時や電話で伝えるようにしている。必要なときには、ケアプランの中に組み込み対応している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人ひとりの状態の把握をし、その方についてどのような観察が必要なかを話し合って周知している。毎月、体重、SPO2を測り、毎日のバイタル測定をしている。様子の変化や状態を見極め、必要時には看護師に来てもらったり、医師に指示を受けたり連携をとっている。		高齢者の心身の把握が出来るように、職員一人ひとりが学び質の向上に努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 薬の変更時等は目的、副作用、観察の仕方を医師や薬剤師の指示を受け申し送り、記録に残し周知して、日々の観察をして記録している。服薬管理については徹底している。薬の用法、用量についての把握はしている。薬の目的、副作用について、把握できるように努力している。</p>		<p>入居者様一人ひとりの薬の内容の把握ができるように職員一人ひとりが意識し学んでいく。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 繊維質の多い野菜や、毎日乳製品を摂って頂くなどしている。毎日散歩や体操をして体を動かして頂いている。、又、水分をとって頂くように組み合わせている。腹部マッサージで促す場合もある。便の確認が明確でない方には医師に腹診して頂いている。必要な方には医師の指示により、下剤の調節をしている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) ミーティングや勉強会で、口腔ケアの重要性について学んでいる。食後や寝る前の口腔ケアの声かけや一部介助をし、清潔を保てるように習慣付けている。職員は、入居者様の口腔内の状態の把握をしている。口腔内に異常が生じた時は、歯科のDrに往診を受けている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 一日のカロリーを栄養士により管理された食事メニューを週3日間、それに基づいた職員食事メニューを4日間で提供している。毎日食事量のチェックをし、必要時には医師に相談する等している。その方に応じて食べやすいように配慮したり、水分が取れるように工夫したり計画に入れて取り組んでいる。水分が摂りにくい方にはチェック表を作って、一日の水分を確保している。</p> <p>(外部評価) 整腸のため、毎日ヨーグルトを食べる等、できるだけ薬に頼らないよう、ご家族等の協力も得ながら支援されている。又、食材宅配のメニューを参考に、カロリー等にも配慮して事業所の食事の献立作りをされている。食事後には職員が利用者にお茶のおかわりをすすめておられた。</p>		<p>月に一度の体重測定をしている。必要な方には、2週間に1度測っている。</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 起こりうる感染症について勉強会をし、全員でマニュアル作成に取り組み実施できている。日々の生活の中に手洗い、うがいが習慣付けられてきている。入居者様、職員全員が、インフルエンザの予防接種を受けている。</p>		<p>散歩、外出から帰った時、には手洗い、消毒、うがいを習慣付けている。毎日時間を決めて、紅茶でうがいをしている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) ミーティングで話し合い、取り決めを作って実行している。毎日のまな板、布巾の消毒、その都度包丁の消毒、開封日を記載したり、日付を見て先出しする等。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 門を入るとすぐに畑があり、ご近所の方に声をかけて頂くこともある。庭には植木を植えたり、プランター、ベンチを置き四季を感じ休んで頂ける。玄関の扉はいつも開けており、明るく出入りしやすい。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 共用空間には、いつも花が生けられている。外出時の写真等掲示してあり話題作りに役立っている。入居者様が散歩の途中にとって帰った草花を生けている。料理の音や臭いに関心を持って頂いたり、季節の旬の物を料理に使ったり工夫をこらしている。</p>		<p>掲示物の張り替えをこまめにしていく。</p>
			<p>(外部評価) 清潔を保てるよう掃除に心がけておられる。事業所内の所々に緑を配し、ゆったりとくつろげるソファや椅子が配置されていた。共用空間の神棚を拝むことが日課となっている方もいる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングにはテレビ前にソファを置き、皆さんでテレビを見たり、ベランダのベンチに座りお話される方もいる。最近では入り口に椅子を置き、他の方と離れて過されたり、ご家族を待たれたり、二人でお話されたり思い思いに過せるように工夫している。</p>		<p>孤立してしまう方の不安を軽減するために、職員がいるキッチン前にソファを置き対応した。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時には、ご自宅で使い慣れていた馴染みの物を持って来て頂くようお願いし、少しでも安心して生活して頂けるように努めている。机、椅子、棚、たんす、小物や大切な方の写真等持ち込んで頂いている。居室の入り口には暖簾をしてプライバシーも保っている。 (外部評価) フラワーセラピーで作ったお花の飾りがお部屋に飾ってあった。ご家族の写真等も飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度計、湿度計を設置し、室内の温度、湿度の調節に配慮している。換気の時間を決めて実施している。冬には加湿器を置いたり、濡れタオルを干すなどの工夫をしている。暑さ、寒さは入居者様に聞き、調節している。朝の朝礼時に伝え合い意識付けしている。		各居室の温度にも配慮していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、トイレ、浴室等には手すりを取り付けたり、床はバリアフリーとなって安全に移動が出来るようにしている。洗濯物を干して頂く時には、干し易いように高さ調節したり、食器拭きの時にはテーブルでして頂く等、安全への工夫をしている。		玄関の出入りに縦の手すりを設置し、立ち上がりの時に利用できるようになった。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の入り口にはそれぞれの暖簾を取り付け自分の居室が分かりやすいようにしている。必要な方には、居室入り口に名前を分かりやすいように明示したりトイレに張り紙をしたり工夫している。タンスも物が分かるように張り紙をしたりしている。その方の状況に合わせて環境整備を行っている。		一人ひとりの不自由を把握し、工夫できることを考えていく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭に植木を植えたり、プランターやベンチを置いて休んだり日向ぼっこをされている。畑も広く確保し、入居者様と一緒に野菜を取りに行っている。		ベランダの活用を考えて行きたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	思いが訴えられない方、入居間もない方への思いや願いについては、まだ充分ではない。入居者様と職員の信頼関係を築くように努力し、ほとんどの方には、思いや、願いを伝えて頂いているが、共同生活のため表出できない面もある。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事の時間、水分補給、おやつの中には、職員も共にゆったり過ごし、お話し出来るように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は一人ひとりのペースを把握し尊重するように努めているが、共同生活の上で他の方に合わせて頂かなくてはならない事もある。居室にこもりがちの方には、職員がお願いして活動に参加して頂く場合もある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほとんどの方がその時、その時を生き生きとした表情やお姿で過ごされている。職員は、日々笑顔を引き出す努力をしている。入居間もない方や、個々の対応には、まだ不安もある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の散歩のコースは入居者様に決めて頂いたり、月に1, 2回の外出やドライブに希望を聞いて出かけているが、一人ひとりの希望を全ては受け入れできない。欲しい物を買に行ったり、地域の老人会に行かれる方はいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一週間に一度、医師の往診があり、その都度、指導を受けて対応している。24時間いつでも連絡が取れて、必要時には往診して頂いている。日々の生活の中での心配事などは、いつでも看護師に相談できるようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々状況や、要望に応じれるように勤めている。食事、入浴等、個々の希望を聞いて対応している。自分から訴えられない方への配慮がまだ充分ではない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には、コミュニケーションを図るよう勤め、何でも言って頂くようにしている。よく訪問して頂き、信頼関係が築けている方もいるが、入所間がない方にはまだ充分ではない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	古い友人や、近所の方ご時々訪問される事がある。月に一度はワーカーセラピーのボランティアに来て頂いている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている ② 少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	2ヶ月に一度の開催が出来るようになり、顔なじみの方も出来た。多方面の方に出席を促したい。テーマを決めての報告や活動報告により、少しずつホームの理解をして頂けるようになってきた。地域の活動や、その他の情報を提供して頂いている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	職員同士は助け合い、コミュニケーションを取りながら笑顔で働いている。職員一人ひとりが、目標を定め、それに向けて取り組んでいる。職員皆何らかのストレスはかかっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	何でも言って頂けるような環境作りに努め、入居者様の気持ちに配慮している。生活の中で笑顔がよく見られ、意欲的な場面も多くある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	面会時には必ず、ご本人の状態を伝え、意見や希望を聞くように努め、何でも言って頂けるようコミュニケーションを取るよう努力している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

四ツ葉の理念『健康・愛情・幸福・希望』を常に振り返り日々のケアに取り組んでいます。

- ・健康・・・職員は毎日のバイタル測定と状態の把握をして、入居者様の変化にいち早く気付くように努めています。異常時には、24時間Drに指示を受けることができ、必要に応じて往診を受けることができます。毎日の体調、希望に応じた散歩、体操を行っています。
- ・愛情・・・入居者様とご家族の関係の継続して頂くように、働きかけています。入居者様と職員の信頼関係を築き、一緒に泣き笑いできる環境を作っています。入居者様同士の助け合いの場を持てるように支援しています。
- ・幸福・・・いつも笑顔で生活して頂けるように支援しています。職員は生活の中で入居者様の笑顔を引き出すように努めています。出来ることは継続していただき、自立の支援に努めています。
- ・希望・・・生活の中での希望を何でも言って頂けるよう関係を深める努力をしています。出来ることを続け、それをやりがいにして頂けるように努めています。

年間をとうして、行事を楽しまれています。

- ・いちご狩り、バーベキュー、釣り堀、流しソーメン、ぶどう狩り、クリスマス会等、又、月に1～2回の外食やドライブに出かけて気分転換を図って頂いています。

庭の畑で取れた新鮮な旬の野菜を食べて頂いています。芋掘り等、一緒に収穫をして頂いています。

職員はユニット間の隔たりなく、明るく、元気に、生き生き働いています。